

	新潟大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：122 第2年次：5） ※保健学科を除く。 医歯学総合研究科（M：20 D：73） ※口腔生命科学専攻を除く。 脳研究所
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、共立病院、新潟病院、県立新潟病院、新潟医学校、新潟医学専門学校、新潟医科大学を経て、昭和24年（1949年）新潟大学医学部として設置された。 <u>昭和24年（1949年）新潟大学設置と同時に医学部設置</u> 昭和30年（1955年）大学院医学研究科設置（平成13年（2001年）に医歯学総合研究科に改組） 昭和32年（1957年）医学部附属脳外科研究施設設置（昭和42年（1967年）に脳研究所に改組） 平成16年（2004年）国立大学法人に移行 平成22年（2010年）脳研究所が共同利用・共同研究拠点に認定
強みや特色などの役割	○ 新潟大学の理念等に基づき、新潟県の地域医療を担う医師を養成するとともに、グローバルな視点を備えて先進医療においてリーダーシップを担う医師や研究者の養成を積極的に推進する。 ○ 神経・脳科学研究（脳機能画像研究、脳神経病理標本資源活用研究等）や腎科学研究（腎移植、慢性腎不全治療等）、新潟県の地域性を活かした大規模コホート研究等を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。 ○ 新潟県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。また、医師確保が困難な地域における医療体制の再編支援と地域医療人材育成を兼ねた取組を推進する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や地域がん診療連

携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、新潟県における地域医療の中核的役割を担う。